

ソチオリンピックに出場する日本代表選手の抱負

【スケルトン】



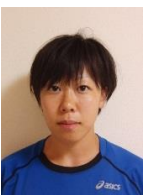
高橋 弘篤
(株)システックス
宮城県出身

まずは私をここまで成長させて下さった多くの方々に深く感謝申し上げます。私一人の力ではソチ五輪出場の夢は叶いませんでした。コーチやトレーナーに、バンクーバー五輪後からソチ五輪までの4年計画を綿密に立てて頂き、その計画を一つひとつクリアすることを目標に掲げながら毎日を充実させることが出来ました。ソチの舞台はこれまでお世話になった方々が私に注いでくれた力、取り組みを世界に証明出来る場だと捉えています。4年計画の最後の目標『メダル獲得』を目指し、東北大震災で被災された方々をはじめ、日本の皆さんに少しでも喜びや元気を感じてもらえるよう最後まで全力で挑みます。



笹原 友希
(株)システックス
秋田県出身

ソチ五輪に出場出来ることを、本当に嬉しく思います。自分1人では絶対に立てなかった夢の舞台です。ご協力をいただきました多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。秋田出身の私は、同じ東北人として震災後も必死で頑張っている方々に、少しでも元気を届けたいという思いがあります。五輪では、是非そうなるよう一生懸命頑張っ参ります。それから、未来ある子供達にも全力で戦う姿を届けたいと思います。『元気、日本！！』、頑張ります。



小室 希
仙台大学職員
宮城県出身

バンクーバーオリンピックでの失格という結果から、この4年間はいろいろなことに苦しみ、多くの課題にぶつかり、心身共に調整が難しいこともありましたが、支え続けてくれた沢山の方々のお陰で、この度ソチオリンピック出場という結果に至ることができたことを、本当に感謝しています。多くの課題の中には、まだ乗り越えなければならないものがあります。しかし、ソチオリンピックに出場させていただく限りは、お世話になった方々に恩返しをすること、そして、東北大震災で被災された方々に少しでも喜んでいただけるよう、これまでに掴んだものを活かし、自分の力を最大限に発揮して、最高の滑りをしたいと思います。